

自己点検評価結果

| カテゴリー | | 27年度平均点 | 27年度の対応 | 課題と今後の方策 |
|-------|-----------|---------|--|--|
| 1 | 教育理念・教育目的 | 4.0 | — | — |
| 2 | 教育目標 | 3.8 | 地域の保健医療福祉サービスに貢献できる看護師の育成のため、教育目標を設定している。また、領域別の到達目標を設定し、看護実践力の向上に努めた。 | 卒業後に必要とされる技術、特に診療の補助に関する技術力を高める実習展開方法の工夫が必要であり、引き続き指導体制を整えていく。 |
| 3 | 教育課程 | 3.7 | 履修時間数の確保や単位認定、卒業認定等の基準の遵守に努めた。学生の学習方法の指導等は、学生の理解度に応じた支援に努めた。 | 過密カリキュラムの解消には、非常勤講師の学習進度の調整が必要であり、引き続き努力していく。単位修得に向けた効果的な支援を継続していく。 |
| 4 | 学習支援 | 3.7 | 学習状況の把握に努めるとともに、学習についていけない学生に対し、学習時間、学習場所の確保や相談体制など支援に努めた。学習進度は、常にカリキュラムの見直しを意識し、各学年で修得させる科目の妥当性を検討した。また、講義等の充実につなげるため、平成27年度から各講義、実習に対する学生アンケートを実施した。 | 学習についていけない学生に対し、外部講師と連携し、学生の情報把握を図り、個別の学習支援に努めていく。また、効果的なカリキュラムの見直しや学生の学習理解の支援に努めていく。学生アンケートについては、引き続き継続していく。 |
| 5 | 学生支援 | 3.4 | 進路、学習、生活上の悩みなどについては、教員が十分に相談に乗れる対応を心がけている。また、カウンセラーによる学生相談室を設置している。さらに、卒業後の勤務先の悩み等にも相談を行うとともに、修学資金の相談、健康診断、子育て支援についても対応している。 | 学生の生活背景や、学習状況など個人にあわせたきめ細かい支援が必要となってきている。また、社会情勢や時代背景を踏まえ、学生のニーズに合わせた対応を検討する必要がある。 |
| 6 | 経営・管理過程 | 3.5 | 毎年度の予算要求、3か年実施計画に基づき、予算を計上するとともに、例月出納検査、決算審査等を踏まえ、適正な予算執行に努めている。自己点検評価については、平成25年度評価から実施し、今年度は3回目の点検評価となる。 | 施設及び設備の老朽化が進む中、適切な維持補修に努めていく。また、地域医療を取り巻く環境の変化等に十分注意し、中長期的なビジョンを策定していく必要がある。自己点検評価を継続し、学校運営への一層の反映に努めていく。 |
| 7 | 入学 | 3.0 | 推薦入学試験、社会人入学試験、一般入学試験を適正に実施した。受験者数については、2次試験を行わなかったため、一般入試が前年度に比べ減少した。平成27年度の退学者は2名、休学者数は1名といずれも前年度より下回った。 | 入学希望者拡大の取り組みについては、高校訪問や、進学相談会等への積極的な参加、また、学校行事の充実や、ホームページ、学校案内の更新を適時行い、本校の魅力を発信し、看護師への理解が深まるように努めていく。また、退学者や休学者数の減少については、よりきめ細かなサポート体制の充実が求められる。 |
| 8 | 卒業・就職・進学 | 3.7 | 進路アンケートの実施や、母体病院における就職説明会への参加、個別面談などを実施し、母体病院への就職率は79.1%と高い就職率を維持した。また、助産師学校に2名が進学した。看護師国家試験対策講座の実施などの効果で国家試験合格率は、100%であった。 | 今後も、母体病院への就職率の向上、国家試験合格率100%の維持に一層努めていく。 |
| 9 | 地域社会・国際交流 | 3.8 | 看護体験入学、中部国際空港災害訓練、近隣の保育園等との合同津波避難訓練、学校祭等を実施し、地域社会との交流に努めた。また、3年生について海外研修を実施するなど、国際的視野の向上に努めた。 | 地域社会との関わりは重要であり、今後も施設活用や、学校行事等の企画、実施を通じて交流を促進していく。海外研修については、学生が国際的な見識を得るために重要なものであると認識しているが、毎年国際情勢等も考慮する中、適正な実施に努めていく。 |